

令和2年度 支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム 開催要綱

1. テーマ

“新しい生活様式”に対応した住民主体の生活支援活動の運営を考える

～with コロナの社会で人と人との「つながり」を保ち・広げるためには～

2. 趣 旨

2020年5月、政府の「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」新型コロナウイルス禍での「新しい生活様式」が国から提言されました。感染症が潜む日常の中では、3密（「密閉」「密集」「密接」）の場所を避けるなど適切な感染防止対策が求められています。

住民主体の生活支援活動は、これまで人と人の関係性を大切にし、つながり合い、支え合う関係を大切にして取り組みを展開してきました。新しい生活様式が示され、日常生活においても新型コロナウイルス感染症への対応が求められるなかで、私たちはどのような取り組みをすることが必要となるのか、また地域のつながりを切らないために何ができるのかなどを考えます。また、新たな活動スタイルを生み出している団体の実践や、地域の社会福祉法人やまちづくりを担うNPO法人の連携による実践などを参考としつつwith コロナの社会における住民主体の生活支援サービスの継続と発展を考えます。

3. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 共 催 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会
一般社団法人 全国食支援活動協力会
特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

5. 開催日 令和2年10月22日（木）

6. 会 場 オンライン会議（Zoom内）
※WEB視聴により開催

7. 参加対象

- ・生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）
- ・住民主体による生活支援のサービスや活動に関心のある方
- ・助け合い活動、生活支援サービスを行うNPO、ボランティア団体、

その他関係団体

- ・生協、農協、社会福祉協議会等関係者
- ・行政・自治体関係者

8. 参加定員 300名 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます

9. 参加費 無 料

10. 申込締切 令和2年10月16日（金）
※定員になり次第、締切とさせていただきます

11. プログラム

時 間	内 容
13:00	開会
13:00 ～ 13:40 (40分)	【基調講演】 「コロナ時代の健康（仮）」 感染症が潜む日常の中では、「新しい生活様式」が国から提言されるなど、人との身体的接触を避けるために自粛による自宅待機をする家庭が増え、今までのようなつながり合う居場所や通いの場などでの活動についても自粛が求められ、地域の中での人とのつながる機会も減ってきました。そうした閉塞状態が続くことで、精神と身体に与える影響は健康などへの悪影響を人間に与えます。 そこで、とくに高齢者や子どもに与える「こころ」と「からだ」への影響と予防策について専門的見地から学び、with コロナ時代での住民主体の生活支援活動への期待と人と人との「つながり」の大切さについて考える機会とします。 <u>登壇者：</u> 近藤 克則 氏（千葉大学予防医学センター教授）
13:40 ～13:50	休憩
13:50 ～ 14:30	第1セッション <在宅福祉サービス団体全国連絡会> 「“新しい生活様式”に対応した住民主体の生活支援活動の運営を考える」 住民主体の生活支援活動は、これまで人と人の関係性を大切にし、

(40分)	<p>つながり合い、支え合う関係を大切にして取り組みを展開してきました。with コロナの社会において、在宅福祉サービス団体にどのような取り組みが求められるのか、新たな活動スタイルを生み出している団体の実践や、地域の社会福祉法人やまちづくりを担う NPO 法人等の連携の実践などを報告していただき、これからの住民主体の生活支援サービスの継続と発展を考えます。</p> <p>◆実践報告者 荒川 陽子 氏（特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと 代表）</p> <p>◆コーディネーター 隅田 耕史 氏（特定非営利活動法人フェリスモンテ 事務局長）</p>
14:30 ～14:40	休憩
14:40 ～ 15:20 (40分)	<p>第2セッション <一般社団法人 全国食支援活動協力会 「コロナ渦における食支援活動～食支援活動の意義についてあらためて考える」</p> <p>食支援活動は、子どもから高齢者まで「食」を通じた多様な活動を展開しています。コロナ渦における食支援活動について、アンケート調査（※）報告と、実践者より「会食・配食・こども食堂」の活動についてご報告頂きます。</p> <p>※【緊急調査】新型コロナウイルス流行に関する食支援活動調査（2020年5月実施）</p> <p>◆実践報告者 石田 惇子 氏（NPO法人支え合う会 みのり副理事長・（一社） 全国食支援活動協力会 代表理事） ～会食・配食・居場所 近藤 博子 氏（一般社団法人ともしび at だんだん 代表理事） ～こども食堂</p> <p>◆コーディネーター 平野 覚治氏（一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事）</p>
15:20 ～15:30	休憩
15:30 ～ 16:10 (40分)	<p>第3セッション <特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク> 「取り組みを続けるための対策と市町村による推進策を考える」</p> <p>高齢者の外出自粛が推奨される中で、移動支援を継続することは難しく、実施内容をアレンジしたり、積極的に推進したりしなければ、活動は委縮してしまいます。気づかないうちにフレイルが進行する高齢者が急増するでしょう。第8期介護保険事業計画の策定にあたって、</p>

	<p>地域支援事業を活用し移動支援の担い手育成や、活動の持続可能性を高めていくことを提案します。</p> <p>◆実践報告者 木下 綾子氏（秦野市高齢介護課 主査）</p> <p>◆コーディネーター 河崎 民子氏（NPO 法人全国移動サービスネットワーク 副理事長）</p>
16:10 ～16:20	休憩
16:20 ～ 17:00 (40分)	意見交換会・まとめ
17:00	閉会

1.2. 申込方法

下記申込フォーム（Google フォーム）からお申込みください。

申込フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/1uRexQ5H3eUf2ZMf0IjkmfS2FSIZ-XBzahP4fhwBjINk/edit>

※10月20日（火）までに、申込フォームに記載いただいたメールアドレス宛に視聴用URLをお送りします。

1.3. 個人情報の取り扱い

「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみで使用し、他の目的で使用することはありません。

個人情報の管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

<フォーラムの内容に関するお問い合わせ先>

全国社会福祉協議会 地域福祉部（担当：由利、吉本）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4655 FAX. 03-3581-7858